

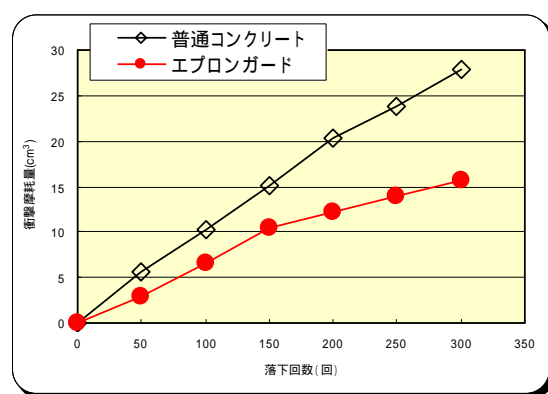
3. 試験データ

エプロンガードの性能比較(参考値)

項目	単位	試験方法	普通コンクリート	エプロンガード	普通コンクリートとの比
圧縮強度	N/mm ²	JIS A 1108	35.4	100.9	285%
引張強度	N/mm ²	JIS A 1113	2.72	7.01	258%
弾性係数	kN/mm ²	JIS A 1149	24.5	38.7	158%
耐衝撃性	cm ³	鋼球落下試験 ¹	27.8	15.8	56.8%
耐摩耗性	cm ³ /cm ²	ASTM C-418 ²	0.139	0.098	70.5%

1: 小柳ら(1988)の試験方法

2: サンドブラスト試験



鋼球落下試験結果




普通コンクリート



エプロンガード

サンドブラスト試験による摩耗状況


株式会社 新東洋技術コンサルタント URL:<http://www.sintoyo.co.jp/>
 本社 〒983-0835 仙台市宮城野区大槻10番19号 TEL 022-293-3125 FAX 022-293-3128

エプロンガード®

高強度プレキャストコンクリート版による耐摩耗補修工法




株式会社 新東洋技術コンサルタント

1. エプロンガードとは

エプロンガードは、優れた耐衝撃性、耐摩耗性を有した100N/mm²級の**高強度プレキャストコンクリート版**であり、土砂流によって著しい損耗を受ける頭首工など河川構造物の補修・補強に最適です。

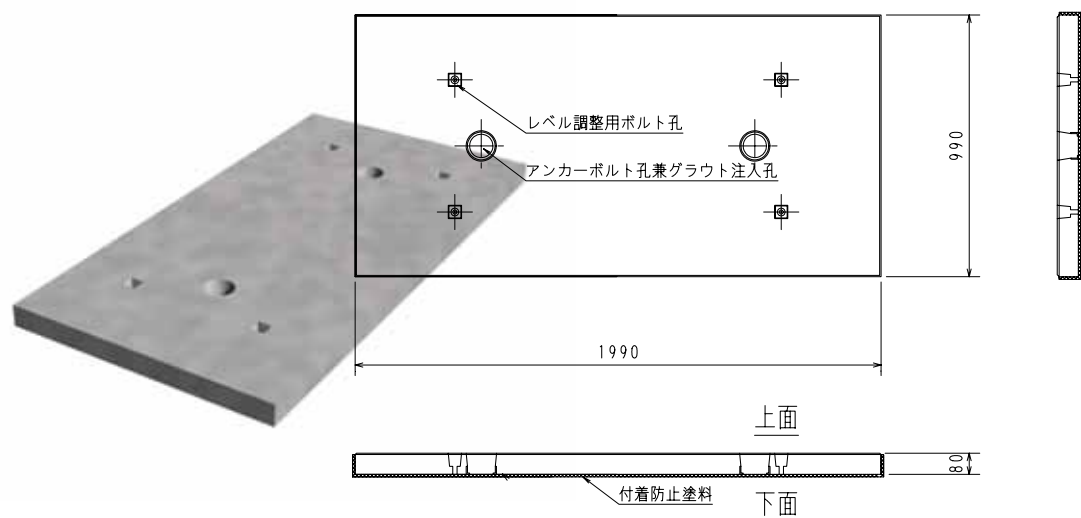
エプロンガードは、**トータルコストの低減を提案します！！**

優れた耐衝撃性、耐摩耗性
優れたコストパフォーマンス
工期の短縮



岩石の自由落下試験による耐衝撃性の確認

エプロンガード形状図



特徴

レベル調整が容易！

専用のボルトでレベルを調整するので、プレキャスト版同士の段差を小さくし、キャビテーションを抑える微妙なレベル調整が可能です。

取り替え時期が明瞭！

設計摩耗代の位置にコンクリート色と色調の異なる摩耗検知プレートを埋め込んでいるので、取り替え時期が明瞭です。

効果的な維持管理が可能！

1ピース1990×990mmのブロックになっているため、摩耗量の大きい部分のみ交換することが可能になり、効果的な維持管理ができます。

再利用が可能！

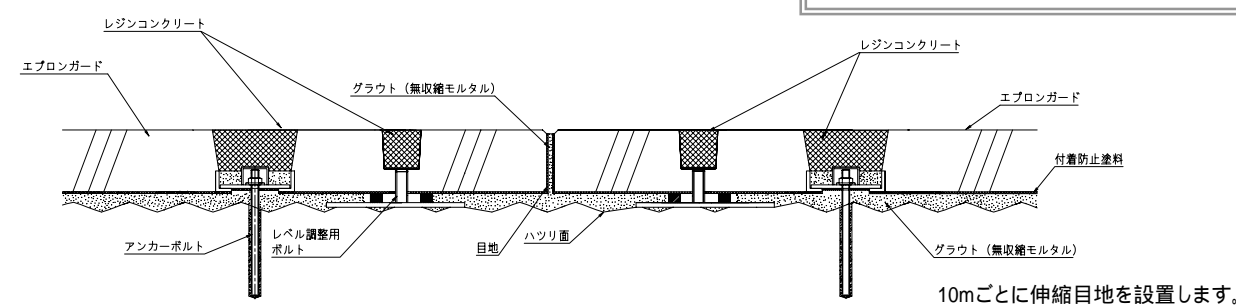
版の裏面に付着防止層を設けており、グラウト充填材と縁切りになるため、アンカーボルトのナットを外せばエプロンガードを容易に取り外すことができ、再利用も可能です。

2. 施工方法

施工順序



標準据付図



下地コンクリートに鉄筋が配置されている場合、ルーズホールの範囲内で鉄筋を避けてアンカーボルトを取り付けることが可能です。